

2022-23年度RIテーマ
IMAGINE ROTARY
イマジン ローターリー



RI会長
ジェニファー・ジョーンズ

TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会長	板場 英行	会計	土伏 英晴	直前会長	福本 博之
会長エレクト	宮本 和彦	副会計	野田 眞治	管理運営	久藤 孝仁
幹事	木村 安伸	S A A	宇都宮勝博	会員組織	堀越 賢二
副幹事	中川 康子	副S A A	三好 静子	奉仕	吉本きよ子

事務局／〒725-0021竹原市竹原町3591
TEL／0846-22-7570 FAX／0846-22-7651
E-mail／rc-take@estate.ocn.ne.jp
http:www.takehara-rc.com
例会日／毎週木曜日12:30~13:30
例会場／大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 3月 9日

次週のプログラム 3月16日

クラブアッセンブリー

会長エレクト研修セミナー報告

【2023年 3月 2日 第2763回例会記録】

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング：奉仕の理想
- 4つのテスト（大森寛会員）
- ゲスト：米山奨学生 丁 若泓様
- 会員数：13名 □免除者：0名
- 出席者：9名 □欠席者：4名
- メイク：0名 □出席率：69%

米山奨学生 丁さんへ3月分奨学金をお渡ししました。



【丁さん ご挨拶】

昨年の4月から一年間、米山奨学金のご支援をいただき有難うございました。この一年間は米山奨学金のおかげでアルバイトの時間が減り、自分の研究と就職活動に集中することが出来ました。2月10日に尾道市立大学の修士号の授与が決まり、無事に卒業できます。一番楽しかったのは夜お酒を飲める例会でした。他国の文化を学ぶことは、知識だけの勉強でなく、他国の人々の生活スタイルや習慣、考え方等の勉強が一番重要だと思います。人生に対する理解や考え方も今までよりもっと豊になりました。最後になりますが本国へ帰国しても米山奨学生として竹原ロータリークラブの一員として頑張りたいと思います。

記念日代表者謝辞

3月 吉本きよ子会員



【幹事 木村 安伸】

- ・ 3月ロータリーレート1\$=136円
- ・ トルコ・シリア大地震に対する支援について
- ・ 2023-24年度PETS&地区研修セミナーご案内
- ・ 第20回賀茂川清掃について
- ・ 第22回3クラブ合同親睦ゴルフコンペについて
- ・ 2022-23年度G9IMについて
- ・ 本日例会終了後定例理事会開催

会長の時間



【会長 板場 英行】

会員の皆さんこんにちは。
3月、旧暦で「弥生」に入りました。「弥」はいよいよ、ますますという意味を持ち、「生」は誕生、息吹を表します。いよいよ生命・草木の芽吹く時期となり、

次のステージに向けての旅立ちと飛翔の月といえます。コロナ禍の影響で約3年間停滞していましたが種々の活動も通常を取り戻しつつあります。冠婚葬祭や卒業式の行事、野球やサッカーなどのスポーツ活動、業務や旅行での移動など活性化が窺えます。今後のマスク着用自己判断、感染症分類5類移行などにより通常生活活動復帰が促進されます。

先日（2月16日）の3クラブ合同例会無事に終了し休心です。4月9日にはグループ9のIMが開催されます。クラブ間の交流、親睦に尽力したいところです。先月の2月18日に2022年度米山奨学生終了式が行われ、福本カウンセラーの代理として参加しました。グループ9では、本クラブの丁若沼奨学生をはじめ14名の奨学生に終了証書が授与されました。奨学生として得た好意と友情を忘れず、それぞれの分野における今後の活躍と世界の架け橋として尽力されることを期待します。

月第一例会ですので、ロータリー情報が主題です。皆さんの手元に「ロータリーの友3月号」、「ガバナー月信Vol.9」が届いています。3月は「水と衛生月間」、および13日から19日が「ローターアクト週間」であり、関連の特集記事が掲載されています。また、R.マッキンリー次年度RI会長のQ&Aがあります。今回は、時間の関係上内容に関する詳細は省略しますが、会員各位興味ある記事に目を通して頂きたい。

会員 板場 英行

会長の時間に続いて3月記念日卓話を担当します。テーマは自己の職業分類に該当する「リハビリテーション」です。リハビリテーションの説明諸事項がありますが、本日は「リハビリテーションの理念」と「専門職種」についてお話しします。リハビリテーションの理念は中世のヨーロッパに起源が遡ります。この時代は宗教的な意味合いが強く、「破門の取り消し」として作家バーナード・ショーが著わした「ジャンヌ・ダルク」のストーリーが指摘されます。18世紀に入ると非宗教的な意味として、無実の罪の取り消し「名誉の回復」が加わりました。19世紀には、実際に罪を犯した犯罪者の更生（刑務）の意味で使われています。現在一般的に理解されている障害を持った人々に対する医療と福祉活動を意味するようになったのは、第二次世界大戦による戦傷者の急増という社会背景の中です。戦勝国のアメリカとイギリスで、傷痍軍人の治療と早期社会復帰を根幹とした医療・福祉活動をリハビリテーションと呼称する動きに呼応し、20世紀半ばに「障害者の全人間的復権」を明記した定義が発表（英文）され、10年後我が国に伝播されます。このように、リハビリテーションは欧米発祥で数十年遅れてスタートした日本ですが、関係者の尽力により世界をリードするレベルに向上発展しています。20世紀の後半、スウェーデンから始まった国際障害者年を発起とした人権思想は「障害者の権利高揚」、そして障害者を挑戦者、社会生活人として差別のない生活支援体制確立と健康寿命サポートへリハビリテーションの歯車を動かしています。

リハビリテーションは、対象者（障害者）に対して多くの医療スタッフと関連職種が関わる包括的医療・福祉活動です。医師をピラミッドの頂きとした従来の方式でなく、関連専門職種がそれぞれの専門的知識と技術を結集して取り組む平面的co-work（協同作業）です。本日は、この中でセラピストと呼ばれる理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を概説します。紹介ビデオは厚生労働省の職業情報提供サイト職業紹介動画からです。

理学療法士（PT）は「身体運動を支援する専門家」であり、身体に障害がある人等の身体運動機能の回復や維持・向上を図り、自立した日常生活が送れるよう医師の指示の下、運動の指導や物理療法を行います。昭和41年に国家資格制度が始まり半世紀（57年）を経過し、現在全国で20万人以上の有資格者が誕生しています。

(実務者は80%弱の約15万人)

作業療法士（OT）は「生活活動を支援する専門家」であり、身体や精神に障害のある人がその心身機能を回復し、日常生活・社会生活に復帰できるように生活の中における作業や動作などを用いて訓練・指導・援助を行う医療技術者です。理学療法士と同年の1966年に資格制度発足。国家資格取得登録作業療法士数約10万人（実務者、約8万人）。

言語聴覚士（ST）は「生きる喜びを持てるよう支援する専門家」であり、ことばによるコミュニケーションなどに困難をかかえる人（摂食、嚥下障害を含む）を対象に問題の程度と発生メカニズムを評価し、その結果に基づいて訓練指導などを行う専門職です。1997年に法律成立、1999年が第1回国家試験であり、23年間で約4万人が言語聴覚士国家資格取得（実務者、約3万人）。

全国的に理学療法士は量的充足の傾向にあり、専門家としての質が求められる時代となっている。作業療法士は、精神科領域と認知症に対するアプローチが今後の大きなテーマである。言語聴覚士は、病院以外の施設、学校、家庭でのニーズが高まり人的不足の状況です。

